

2012年5月27日

各位

8・6広島青空集会から9・6「山口のヒロシマ・デー」へ！
連続行動実行委員会 事務局長 寺中 正樹

8・6広島青空集会から9・6「山口のヒロシマ・デー」へ！
連続行動実行委員会への参加・賛同のよびかけ

拝啓

昨年3月11日に発生した東日本大震災により福島第一原発で甚大な事故が起きました。この事故により大量の放射性物質が降り注ぎました。野田政権は12月には収束宣言を行いました。未だ、燃料がどこにあるのかもわかっていないような状況でとても収束とは言えません。

私たち「8・6広島青空集会から9・6『山口のヒロシマ・デー』へ！連続行動実行委員会」は、1985年以降、毎年8月6日に広島市の平和公園内で、被爆二世・学生・労働者・障害者など市民の手による反戦・反核・反原発・被爆者解放の集会を開催して参りました。また、中国電力が山口県に建てようとしている上関原発予定地 田ノ浦や対岸で上関原発建設反対を訴え続けている祝島へのフィールドワークも行ってきました。その中で学んだことは核と人類は共存できないということです。

広島・長崎の被爆者はこれまで「ノーモア・ヒロシマ！ノーモア・ナガサキ」の声を世界中に広げ、三度核による被害者が生まれぬよう闘ってきました。被爆者の思いを踏みにじり、イラクでは「劣化」ウラン弾が使われました。また、核実験によるヒバクシャ、原発による被曝労働者が作られてきました。福島原発の事故では今も労働者や住民が被曝させられています。また、放射性物質を含む瓦礫を拡散させようとしています。その上、野田政権は原発の輸出や電力不足を理由に国内の原発を再稼働させようと目論んでいます。

しかし、多くの人々が「原発はいらない」と声を出し、行動することで、再稼働を阻止しています。皆さん！被爆者の思いを受け継ぎ、私達と共に基本的人権の尊重・平和主義という日本国憲法の原則を堅持し、日本国の過去の戦争責任・戦後責任を問い、労働者民衆の力で新たな戦争の動きを止めたいこうではありませんか！アジアや世界の中で、反戦・反核・反原発・被爆者解放を訴える人々と手をつなぎ合って、目に見える取組を行い、共に安心して暮らせる平和な社会を作り出していきましょう！そのために、官製の平和式典ではなく、「青空集会」と「戦争と被ばくを許さない写真展—命を脅かすもの—」を成功させましょう。 敬具

スローガンは以下の通りです。

1. 全ての被爆者・被爆二世・被爆三世の国家補償を勝ち取ろう！
2. 日本政府はアジアの戦争被害者に謝罪と補償を行え！
3. 日本の核武装を許さず、世界中から核を廃絶しよう！
4. 上関原発建設に反対しよう！
5. 全ての原発の再稼働を許さず、廃炉にしよう！
6. 原発の新設、増設、輸出を阻止しよう！
7. 米軍再編に反対し、全ての米軍基地をアジアから撤去しよう！
8. 平和憲法と基本的人権を守る為に憲法改悪を阻止しよう！

記

一 実行委名称

8・6広島青空集会から9・6「山口のヒロシマ・デー」へ！連続行動実行委員会

二 取組内容

原爆ドーム前青空集会の開催と「戦争と被ばくを許さない写真展」の開催（8月6日）

9・6山口のヒロシマ・デー式典の支援（9月6日）

上関原発建設反対運動をされている祝島島民との交流（10月27日～28日）

三 賛同金

個人1口500円、団体1口1000円

振込先：郵便振替:01500-2-6539 加入者:被爆二世の会

四 連絡先

〒753-0000 山口中央郵便局 私書箱79号 被爆二世の会 代表 寺中正樹

Tel.Fax 083-928-5960 携帯 080-1913-1070

以上